

清瀬市教育委員会 殿

学校名 清瀬市立清瀬第三小学校

校長名 水野 恵美子

令和7年度教育課程

標記の件について、清瀬市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおり届け出ます。

記

1 教育目標

（1）教育目標

人権尊重の精神を基調として豊かな知性と情操を身に付け、自主的・協力的な態度と実践力をもつ、健康・明朗で規律正しい児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

◎ よく考え やりぬく子ども（かしこく 知）【基礎的な力、他者と共に考える力】

・ やさしく 思いやりのある子ども（やさしく 徳）【他者と共生できる力】

・ 明るく 元気な子ども（しなやかに 体）【社会の中で実践する力】

（2）教育目標を達成するための基本方針

- ① 全教育活動を通じて安心・安全を土台とし、基礎的な力、他者と共に考える力を育成するため、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実した主体的・対話的で深い学びを行う。生きて働く知識や技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、主体的に学ぶ意欲を身に付けさせる。
- ② 基礎的な力を育成するため、読書への興味・関心をもたせ、語彙を豊かにする活動を行う。様々な情報から考えを形成し、文章等による表現に必要な読解力の基礎を身に付けさせる。
- ③ 他者と共に考える力を育成するため、地域や学校支援本部、近隣小・中学校、コミュニティースクールと協働した豊かな地域教材、人材を活用した体験活動を各教科・特別活動に位置づけ、教科横断的に行う。地域を誇りとし持続発展の主体者を育てる。
- ④ 社会の中で実践する力を育成するため、児童が進んで運動できる体育学習・活動と食育の充実を推進し、体力の向上を図る。
- ⑤ 他者と共生できる力を育成し、自他の生命を何よりも大切にできる心情を育むため、道徳科を要として、命・人権・福祉・国際理解等に関する学習を全教育活動を通して行う。
- ⑥ 社会の中で実践する力を育成するため、自己指導能力（自律的活動力）を高める学習と生活の三小スタンダードを活用する。
- ⑦ 他者と共生できる力、社会の中で実践する力を育成するため、全教職員の共通理解のもと特別支援コーディネーターを中心とした校内委員会を機能させ、児童の特性に応じた指導、支援の工夫やユニバーサルデザインの環境整備等、特別支援教育の推進・充実を図る。